# いちご病害虫情報第4号（9月）

平成25年9月20日
栃木県農業環境指導センター

単位：%

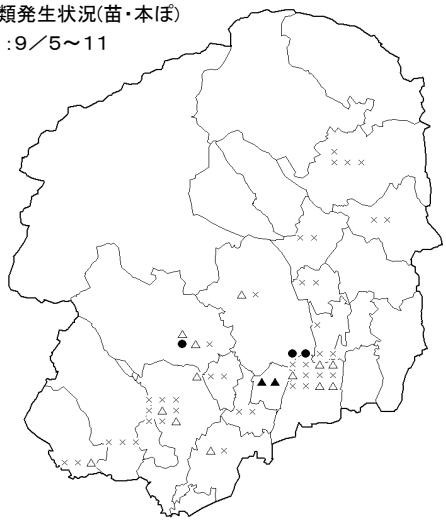
| | | 炭疽病 | 灰色かび病 | うどんこ病 | 萎黄病 | アブラムシ類 | ハダニ類 | コナジラミ類 | ハスモンヨトウ幼虫 | アザミウマ類 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ほ場率 | 発生ほ場数 | 4 | 0 | 5 | 3 | 6 | 18 | 7 | 6 | 2 | 総調査ほ場数：57か所 |
| | 平均値 | 7.0 | 0.0 | 8.8 | 5.3 | 10.5 | 31.6 | 12.3 | 10.5 | 3.5 | 総調査株数：1,425株 |
| | 平年値 | 6.2 | 0.0 | 4.3 | 2.0 | 7.5 | 22.3 | 9.7 | 12.6 | 1.4 | （調査株数　25株） |
| | （平均値／平年値）×100 | 112.9 | － | 204.7 | 265.0 | 140.0 | 141.7 | 126.8 | 83.3 | 250.0 | |
| | 発生程度 | 平年並 | 少 | 多 | 多 | 平年並 | やや多 | 平年並 | 平年並 | 多 | |
| 株率 | 発生株数 | 0 | 0 | 9 | 2 | 5 | 139 | 8 | 6 | 0 | |
| | 平均値 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.1 | 0.4 | 9.8 | 0.6 | 0.4 | 0.0 | |
| | 平年値 | 0.4 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 0.9 | 4.8 | 0.6 | 0.9 | 0.1 | |
| | （平均値／平年値）×100 | 0.0 | － | 200.0 | － | 44.4 | 204.2 | 100.0 | 44.4 | 0.0 | |
| | 発生程度 | 少 | 少 | 多 | － | やや少 | 多 | 平年並 | やや少 | 少 | |
| 概　評 | | 平年並 | 少 | 多 | 多 | 平年並 | やや多 | 平年並 | 平年並 | 平年並 | |

※9月は苗および本ぽを調査
※2013年よりアザミウマ類については、5～9月は株調査、10～4月は花調査

○今月の病害虫発生状況○
・うどんこ病の発生が多く、本ぽでの発生も見られます。
・ハダニ類の発生が多い傾向にあり、一部多発ほ場も見られています。
・苗および本ぽで炭疽病や萎黄病の発生が散見されています。

①うどんこ病発生状況(苗・本ぽ)
調査日：9／5～11

②ハダニ類発生状況(苗・本ぽ)
調査日：9／5～11



| 程度 | 無 | 少 | 中 | 多・甚 |
|---|---|---|---|---|
| 発生株率(%) | 0 | 1～10 | 11～25 | 26以上 |
| 記号 | × | △ | ▲ | ● |

| 程度 | 無 | 少 | 中 | 多・甚 |
|---|---|---|---|---|
| 発生株率(%) | 0 | 1～40 | 40～70 | 70以上 |
| 記号 | × | △ | ▲ | ● |

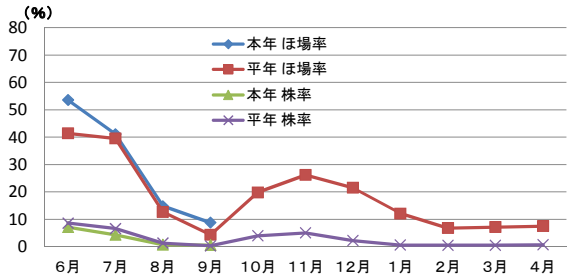



図1　うどんこ病発生ほ場率・株率

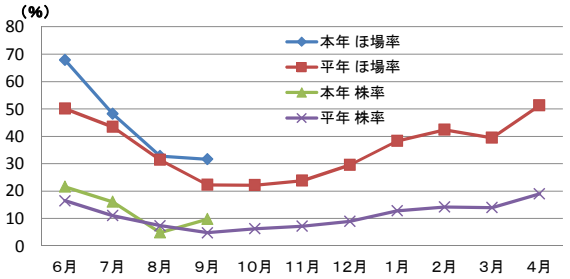



図2　ハダニ類発生ほ場率・株率

写真1　うどんこ病の発生した葉

写真2　　ハダニ類とその卵

○今月の技術情報（技術指導班）○（9月）

・定植作業は概ね順調に進んでいますが、先月に引き続き、ハダニ類の発生がやや多い状況です。今後はハスモンヨトウにも注意する必要があると考えられます。

・一部で炭疽病、萎黄病の発生が見られます。また、気温の低下とともにうどんこ病の発生が多くなっています。今後もこれらの病害虫の発生が拡大する可能性があり、注意が必要です。日常のこまめな観察により病害虫の早期発見に努め、本ぽでの発生が拡大しないよう保温開始期までにしっかり防除しましょう。

・定植後は、畝内部への根張りを促進するため、活着後のかん水は少量多回数で行うとともに、マルチ張りはえき花房の花芽分化期以降に行うよう心がけましょう。

・近年、秋期に高温となる年が多く、株の消耗による作柄低下の要因となっています。積極的な換気や循環扇等の活用により、ハウス内の気温上昇を抑制し、地上部の徒長を防ぎましょう。